

質 問 ・ 意 見	回 答
◇ その他個別事業	
・支庁再編で、なぜ早い段階で留萌市は受け入れたのか。自分から見ると留萌だけが賛成したと思える。説明責任を果たしてほしい。	・反対運動の先頭を切ってやってきたが、道議会での議決してしまった。国もいずれ通ってしまう。その中で市民を巻き込んで反対するわけにもいかない。
・支庁再編に今も反対しているまちと、もう一度協力できないのか。	・医師確保も道・国の協力が必要。「医者が欲しいけど、支庁再編は反対」とはならない。
・東部地区の公民館機能を無くすとはどういうことか。	・管内の皆さんも反対活動に協力してくれたが、議決を受けやむを得ないと理解してくれた。
・町内会長としての立場で要望したい。東部地区公民館は歴史がある、地域にとって交流の大切な場である。スパッと切られると、このまま運営を続けるのは無理と思うが、地域としてはなくしたくない。いきなりではなく、段階を追って3年でとかで見直しをしてほしい。	・拙速だったという意見は受け止めたい。原点に立ち返って再出発するため、皆さんの意見を聞きながら、この地域のまちづくりを考えていきたい。
・利用者は高齢者が多く楽しみを取らないでほしい。全額とはいわない、3分の1でもいい、何とか残してほしい。	・留萌市だけが孤立しているわけではなく、現在も4つの地域で連絡を取り合っているので安心してほしい。
・幌糠地区に公民館も何もなくなることは夕張と同じ状況になる。これだけでも残してほしいと要望する。 ・幌糠地区は高齢化で車免許も返納したりし、行動範囲が狭くなる。そこに公民館も廃止となると一回一回留萌まで行かなければならない。交友広場がなければ引きこもりになる。健康面を考えると中央からも離れている。皆で手を携えて元気にやっいてこうとしているのに、手足をもがれるのは非常に寂しい。なんとか考慮してもらいたい。	・町内会館は各町内会の負担で運営している。この公民館もできれば町内会の負担等をお願いできないかという願いです。
・一次産業を大事にするとすると、幌糠は拠点。公民館は見直していただきたい。	・市街地のくくりの中で、中央公民館で引き継いで対応できるのではないかということです。
・ロードヒーティングも一部だけやめるのであれば全部やめたほうが良い。	・地域のコミュニティが一番大切と考えている。コミュニティ機能をと各地でも言われているので、他の地区の意見も聞いた上でしっかりとした議論をしていきたい。
・泉町、見晴町、平和台は行き止まりの一本道だが、これも見送られるのか。安心安全を考えると避難道路は必要ではないか。 ・日東団地などを通る幹線道路は、沖見町とかに住んでいる人が市立病院までスムーズに行けるような導線で考えているのか。 ・道道に移管してはどうかという声もある。日東団地はバスを運行できるよう拡幅も必要。	・それぞれの町内会の皆さんがコミュニティを充実させ文化的な豊かな方向性を見出してきたことは十分理解している。 ・今回は病院の債務があまりにも大きい。市の財政危機を脱するため財政危機宣言をし、子どもたちに関わる教育にも手を付けざるを得ない状況になってしまった。 ・町内会館は町内会が自力で運営していることも勘案して、地域の公民館は地域で何とか運営していけないかご相談したい。
・幌糠小学校の生徒数は現在何人か。 ・その人数で継続するのか。藤山閉校の時の人数も同じぐらいだったと思うが、この危機の中でそれでよいのか。	・地域、皆さん方が担い手を育てていく環境に対して、行政として責任を果たしていかなければならない。一次産業を守るために、また留萌の基幹産業の水産加工業を守っていくための施策は考えていく。
・公園管理で広路、見晴公園などについて、住民に管理をお願いするとあるが、立木はどうするのか。緑地部分の管理だけでいいのか。	・公民館の意見については承っていく。
	・ロードヒーティングは、危険箇所を考えながら、事故の発生の可能性の低い場所を選んだ。それ以外の箇所の廃止は、道路利用者の負担が大きく、危険性も高くなる。
	・色々な意味で日東団地や自由が丘などの袋小路を解消しようと考えた。 ・道々との整合性を図りながら協議を進めている。基本的には道々として整備をしたいと考えている。
	・9名、3学級である。
	・地域、父兄の方々と協議を進めているところで、地域の理解を得るためにはもう少し時間が必要だと考えている。協議は継続していくが、地元の町内会とPTAから市と市議会と教育委員会に要望が出されており、子どもにとってどういう教育環境が良いのか協議が進められている。
	・立木の管理を住民にお願いするのは難しいと考えており、市が実施する方向で検討している。

・値上げされたごみ処理手数料は市民負担として耐えられる範囲と 考えているが、ごみ処理施設が古くなってきたということは、色々な形 で費用がかかってくると思うが見通しはどうか。 ・入浴助成の廃止とあるが、高齢者の楽しみのある場でもあるので、もう 少し配慮があってもよいのではないか。	・藤山のごみ処理場については、ここ2～3年程度。現在、増毛、小 平の3市町で広域的に協力して行こうということになっている。財源に ついては、水道、下水道、ごみ処理を含めたライフラインについては、 しっかりした計画の下で進めていかなければならないと考えている。 ・ごもっともとは思いますが、病院を守るということを市民の皆様に理解し ていただき、ここ数年は我慢していただきたい。 ・病院の再建後は皆さんと相談しながら、高齢者の満足度を高めるた めに行政としてどういうことができるか、地域と一緒に頑張って努力して 行きたい。